

2025年度

「授業評価アンケート」の結果
および評価報告書
(前期)

北海商科大学

目 次

I. 授業評価アンケートの実施について	3
1. 授業アンケート調査実施の趣旨	3
2. 調査の実施方法	3
3. アンケート回収結果	3
4. アンケート調査項目	4
5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について	6
6. 教員返却用集計フォーム	7
II. 集計結果について	8
1. 全科目の単純集計結果について	8
2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について	11

I. 授業評価アンケートの実施について

1. 授業アンケート調査実施の趣旨

大学教育の質的向上を図るため日常的に教育活動の点検・評価を実施し、その成果と到達点を検証して改善に努めることは、こんにちあらゆる大学に課せられた社会的責任となっています。本学でもそうした社会的要請に応えるべく、教育方法改善委員会のもとで2009年度より継続して調査・点検が行われてきました（2020年度は新型コロナウイルス感染症により異なる方法にて実施）。

この調査の目的は、各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。このたびは2024年度前期開講科目に関する調査結果がまとまりましたので、ここに報告いたします。

2. 調査の実施方法

- (1) 調査方法：manabaを利用したアンケート調査
- (2) 調査期間：2025年5月19日（月）～5月31日（土）
- (3) 調査対象：開講全科目・全学年の授業（専任・非常勤を含む全ての授業）。
ただし、履修者2名以内の科目は除く。
- (4) 調査内容・形式：全科目カテゴリー共通の調査票でアンケートを実施。「学生の行動」「授業手法・教員の行動」「授業内容」「教育効果」などに関する「選択式回答13項目」「自由記述回答2項目」で回答を得る。

3. アンケート回収結果

アンケート回収結果は、表1の通りです。

表1 授業アンケート実施状況

授業科目カテゴリー	(A) 対象 クラス数	(B) 実施 クラス数	(C) 実施率 (B/A)%	(E) 対象クラ ス受講者数	(F) 実施クラ ス回答者数	(G) 回答率 (F/E)%
(1) 異文化交流科目（語学）	16	16	100	297	167	56.2
(2) 異文化交流科目 社会と文化 （社会文化ゼミナール）	9	9	100	231	139	60.2
(3) 異文化交流科目 社会と文化 （社会文化ゼミナール以外）	16	16	100	929	538	57.9
(4) 専門基礎科目	16	16	100	806	572	71.0
(5) 専門関連科目	28	28	100	1,400	652	46.6
(6) 商学科専門科目	17	17	100	430	200	46.5
(7) 観光産業学科専門科目	17	17	100	342	149	43.6
(8) 専門キャリアアップ科目	17	17	100	379	170	44.9
(9) 教職に関する科目	8	8	100	105	57	54.3
合 計	144	144	100	4,919	2,644	53.6

4. アンケート調査項目

- Q1. この科目の一週間の平均的な学習時間（予習・復習）はどれくらいですか？（選択必須）
- 5 4時間以上
 - 4 2時間～4時間未満
 - 3 1時間～2時間未満
 - 2 1時間未満
 - 1 全くしていない
- Q2. この科目の授業にどれくらい出席していますか？（オンライン授業については、課題を学習した場合は出席したと考える。）（選択必須）
- 5 全て出席
 - 4 9割程度
 - 3 7割程度
 - 2 5割程度
 - 1 4割以下
- Q3. この科目の授業に積極的に臨めていますか？（選択必須）
- 5 そう思う
 - 4 ややそう思う
 - 3 どちらともいえない
 - 2 あまりそう思わない
 - 1 そう思わない
- Q4. この科目の授業内容を理解できていますか？（選択必須）
- 5 そう思う
 - 4 ややそう思う
 - 3 どちらともいえない
 - 2 あまりそう思わない
 - 1 そう思わない
- Q5. この科目の到達目標を知っていますか？（選択必須）
- 5 そう思う
 - 4 ややそう思う
 - 3 どちらともいえない
 - 2 あまりそう思わない
 - 1 そう思わない
- Q6. この科目の成績評価の方法・基準を知っていますか？（選択必須）
- 5 そう思う
 - 4 ややそう思う
 - 3 どちらともいえない
 - 2 あまりそう思わない
 - 1 そう思わない
- Q7. この科目の授業内容はシラバスに沿って行われていますか？（選択必須）
- 5 そう思う
 - 4 ややそう思う
 - 3 どちらともいえない
 - 2 あまりそう思わない
 - 1 そう思わない
- Q8. この科目の難易度についてどう思いますか？（選択必須）
- 5 高すぎる
 - 4 高い
 - 3 ちょうどよい
 - 2 低い

1 低すぎる

Q9. 担当教員はこの科目への積極的な参加や自発的な学修を促すように工夫していますか？
(選択必須)

- 5 そう思う
- 4 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない

Q10. 担当教員は質問や相談の対応およびフィードバックを適切に行っていましたか？(選択必須)

- 5 そう思う
- 4 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない

Q11. この科目の受講を通して、解決すべき課題を自ら見出せるようになったと感じますか？
(選択必須)

- 5 そう思う
- 4 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない

Q12. この科目の受講を通して、自らの考えを持てるようになったと感じますか？(選択必須)

- 5 そう思う
- 4 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない

Q13. この科目の総合評価を5段階で選択してください。(選択必須)

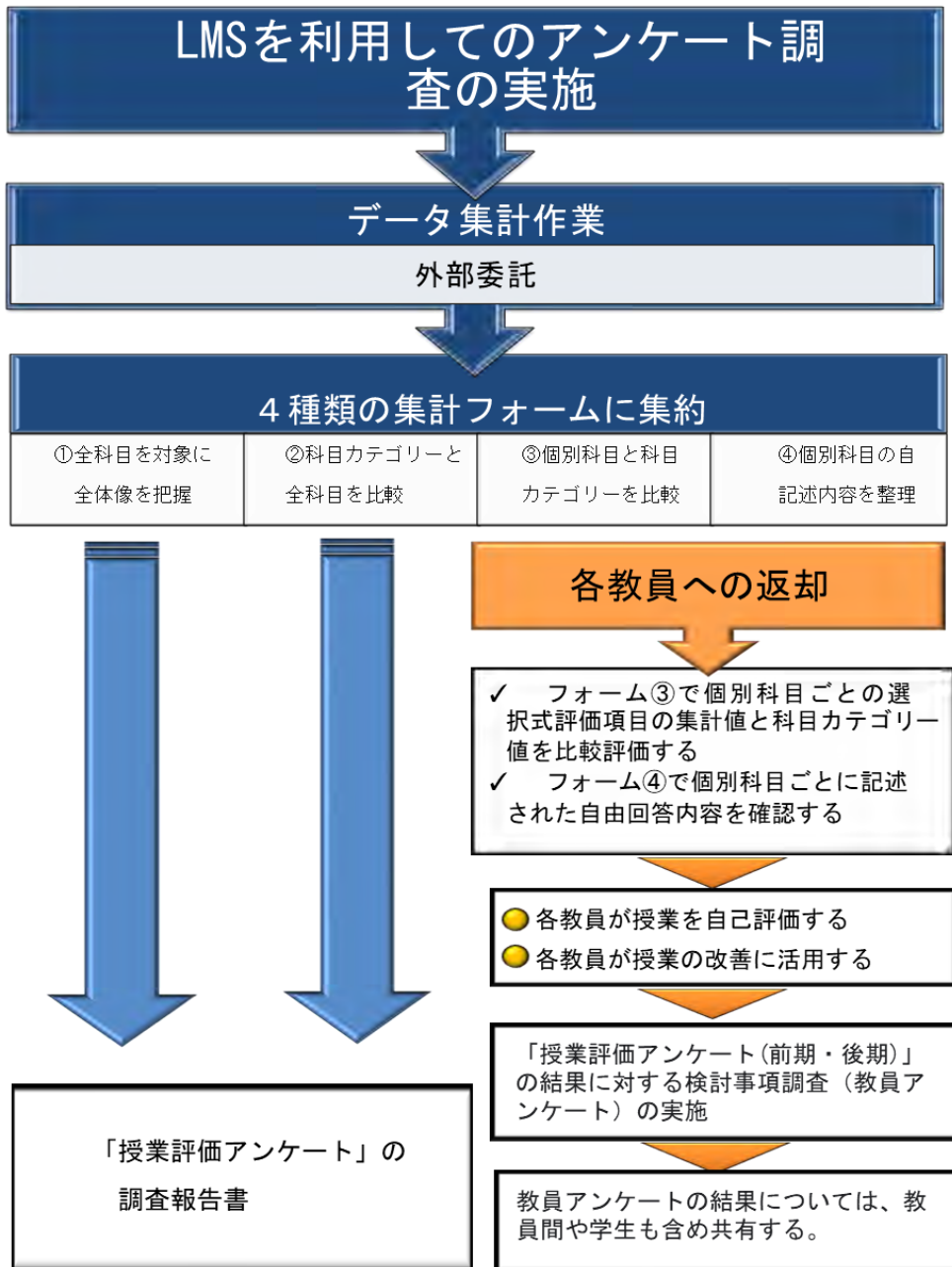
- 5 良い
- 4 どちらかといえば良い
- 3 どちらともいえない
- 2 どちらかといえば良くない
- 1 良くない

Q14. この科目の授業内容・方法について良かった点があれば記入してください。※特にない場合は空欄のまま提出してください。

Q15. この科目の授業内容・方法について改善を望む点があれば記入してください。※特にない場合は空欄のまま提出してください。

5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について

既述したように、この調査の目的は各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。今回のアンケート調査結果と授業改善に向けた活用の仕組みは以下の通りです。



6. 教員返却用集計フォーム

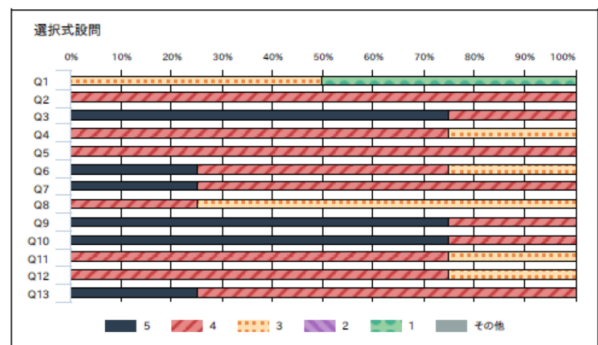
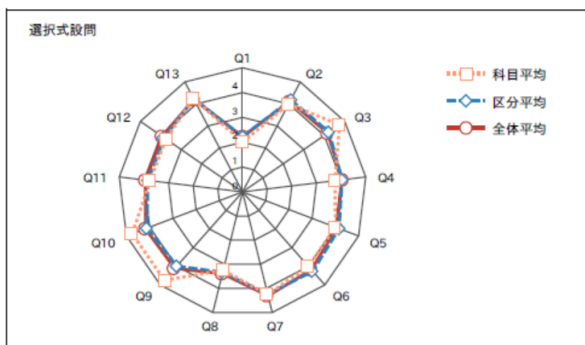
各教員に返却された前ページの集計フォーム③のサンプルを以下に掲げます。

令和7年度前期 授業評価アンケート 集計結果(科目)

科目	コマース研究ゼミナールⅡ			履修者数	9
教員	相浦 宣徳	科目コード	1210A	回答者数	4
曜日時限		区分	商学科専門科目	回答率	44.4%
組織		キャンパス			

設問	科目平均	区分平均	全体平均	回答数/構成比(%)						
				5	4	3	2	1	その他	
選択式設問										
Q1 この科目の一週間の平均的な学習時間(予習・復習)はどれくらいですか?	2.0	2.2	2.2	0	0	2	0	2	0	
				0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
Q2 この科目の授業にどれくらい出席していますか?(オンライン授業については、課題を学習した場合は出席したと考える。)	4.0	4.2	4.1	0	4	0	0	0	0	
				0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q3 この科目の授業に積極的に臨んでいますか?	4.8	4.2	4.2	3	1	0	0	0	0	
				75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q4 この科目の授業内容を理解できていますか?	3.8	4.0	4.0	0	3	1	0	0	0	
				0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q5 この科目の到達目標を知っていますか?	4.0	4.2	4.1	0	4	0	0	0	0	
				0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q6 この科目の成績評価の方法・基準を知っていますか?	4.0	4.3	4.2	1	2	1	0	0	0	
				25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q7 この科目の授業内容はシラバスに沿って行われていますか?	4.3	4.2	4.3	1	3	0	0	0	0	
				25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q8 この科目の難易度についてどう思いますか?	3.3	3.3	3.4	0	1	3	0	0	0	
				0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q9 担当教員はこの科目への積極的な参加や自発的な学修を促すように工夫していますか?	4.8	4.0	4.1	3	1	0	0	0	0	
				75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q10 担当教員は質問や相談の対応およびフィードバックを適切に行っていましたか?	4.8	4.1	4.2	3	1	0	0	0	0	
				75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q11 この科目の受講を通して、解決すべき課題を自ら見出せるようになったと感じますか?	3.8	3.8	3.9	0	3	1	0	0	0	
				0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q12 この科目の受講を通して、自らの考えを持てるようになったと感じますか?	3.8	3.8	3.9	0	3	1	0	0	0	
				0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Q13 この科目の総合評価を5段階で選択してください。	4.3	4.2	4.2	1	3	0	0	0	0	
				25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

【回答基準】5: そう思う 4: ややそう思う 3: 普通 2: あまり思わない 1: 思わない



II. 集計結果について

1. 全科目の単純集計結果について

ここでの集計表は、評価項目別の回答結果を単純に集計したものです。表では評価値として平均値を算出していますが、これは評価項目別に回答結果を評価点（1～5点）で加重平均したものです。また平均値の下段の標準偏差は、回答のバラツキの大小を表しています。各評価項目の平均値は「5」に近ければ良好な評価となり、標準偏差は小さければ回答のバラツキが小さいことを表します。したがって、評価平均値が「5」に近く標準偏差が小さいほど優良な評価を意味することになります。一方、レーダーチャートに表示されている平均値では、評価項目別の評価の良否と全評価項目のバランスを同時に検討することができます。

2024年度前期の調査において、回答率は例年に比べ回収率が7割近くまで改善されたが、今回は著しく低下している。これは、manaba上の選択式設問に不備があり、アンケートを2回実施したためと推認される。自由記述式回答については例年を大きく上回る、749件の回答がありました。

(1) 学生の受講姿勢 (Q1.～Q3.) について

Q1.～Q3. までは、学生の授業に対する受講姿勢に関する質問です。「Q1. 一週間の平均的な学習時間（予習・復習）」については昨年度よりもわずかですが低下が見られます。特に、約9割の学生が「2時間未満」であるのは残念です。選択肢の構成比などは、昨年度とほぼ同じ傾向が見られます。

また、「Q2. この授業への出席率」に関して、前年度平均値「3.9」から「4.1」へ改善されています。2023年度から2024年度にかけては、選択肢の内容変更による影響から「4.7」から「3.9」へと大幅に下がりましたが、その点は解消されたと考えられます。

上記で分析したことと関連すると思われるのが、「Q3. 積極的に臨めたか」の結果です。前年度平均値「4.1」から「4.2」へ改善されています。積極性に欠けたことになる割合は5%にも満たず、多くの学生が講義やゼミナールに対して積極的に参加したことがうかがえます。「2あまりそう思わない」が3.5%、「1そう思わない」が1.3%で前年度の同5.2%、同1.7%と比較しても改善されていることが伺えます。

(2) 授業評価 (Q4.～Q12.) について

9項目のうち6項目において、平均値は「4.0」を超えていました。その他は」と「Q11. この科目の受講を通して、解決すべき課題を自ら見出せるようになったと感じますか？」と「Q12. この科目の受講を通して、自らの考えを持てるようになったと感じますか？」が3.9、「Q8. 難易度」が3.3でした。例年と同じ傾向で、各項目に平均値、各選択肢の構成比率に大きな変化はみられませんでした。

「Q8. 難易度」については、これは高すぎるとかえって学生にとって難しすぎるということであり、普通からやや難しいことを意味する3.5前後が理想的と想定されます。授業評価においてはおおむねよい評価を得ているといえるでしょう。詳しい分析は各科目カテゴリーにてなされます。

9項目のうち8項目において、平均値は「3.9」を超え、標準偏差もほぼ「1.0」前後でした。もっとも差があった「Q12. 自らの考えを持てるか」についても標準偏差は「1.09」であり、この項目は語学などでは高い平均値を出すのは困難であり仕方ないものと思われます。唯一「3.4」であった質問は「Q8. 難易度」についてであり、これは高すぎるとかえって学生にとって難しすぎるということであり、普通からやや難しいことを意味する「3.5」前後が理想的と想定されます。というわけで、授業評価においてはおおむねよい評価を得ているといえるで

よう。詳しい分析は各科目カテゴリーにてなされます。

(3) 総合評価 (Q13.) について

今年度から加えた項目であり、授業の総合評価を5段階で問うというもっともシンプルな設問となります。「5 良い」49.1%、「4 どちらかといえば良い」30.1%となり、圧倒的に評価を得ていることを示しています。「2 どちらかといえば良くない」「1 良くない」を選んだ学生は6.4%だけであり、全体としてみれば本学の授業は大旨学生から支持されていると言ってよいでしょう。

(4) 自由記述 (Q14. Q15) について

自由記述欄への回答に関しては全体で 749件の回答がありました。そのうち「Q14. この科目の授業内容・方法について良かった点」については601件、「Q15. この科目の授業内容・方法について改善を望む点」については148件です。これらの回答内容については、後述の科目カテゴリー別のアンケート結果欄において個別にコメントされます。回答数は前年度の404件に比べて大きく増加しています。

これら自由回答欄の内容は担当教員に公開されており、今後の授業改善に向けた参考資料として活用されます。その後、2025年度前期授業アンケート結果に対する検討事項調査（教員アンケート）を実施し、その結果を教員間および学生も含めて情報共有し、教員のFD向上さらには学生の勉学の向上のための基礎資料として利活用していきます。

令和6年度(2024年度) 授業評価アンケート集計結果(学部別)

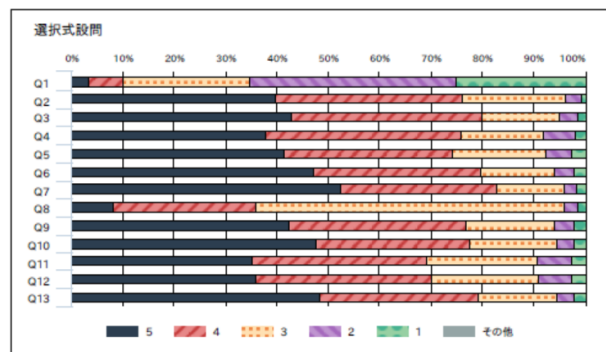
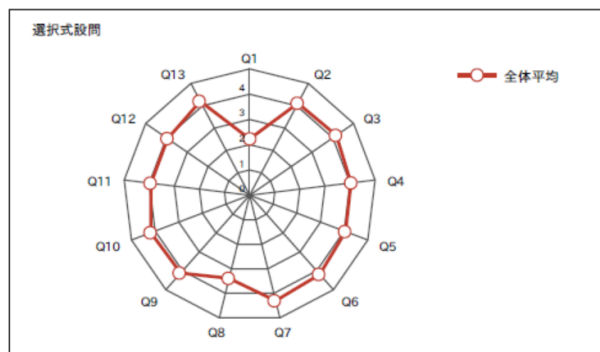
質問内容	上段: 平均値					全科目
	5	4	3	2	1	
Q1. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	99 3.0%	259 7.9%	859 26.1%	1313 39.9%	761 23.1%	2.3 1.00
Q2. この授業への出席率	908 27.6%	1398 42.5%	888 27.0%	73 2.2%	24 0.7%	3.9 0.84
Q3. 積極的に臨めたか	1391 42.3%	1198 36.4%	475 14.4%	171 5.2%	56 1.7%	4.1 0.96
Q4. 授業内容の理解度	1200 36.5%	1253 38.1%	511 15.5%	231 7.0%	96 2.9%	4.0 1.03
Q5. 到達目標の理解	1271 38.6%	1100 33.4%	574 17.4%	220 6.7%	126 3.8%	4.0 1.08
Q6. 成績評価の方法・基準の理解	1649 50.1%	1024 31.1%	367 11.2%	166 5.0%	85 2.6%	4.2 1.00
Q7. シラバスに沿っているか	1853 56.3%	932 28.3%	369 11.2%	83 2.5%	54 1.6%	4.4 0.90
Q8. 難易度	230 7.0%	962 29.2%	1954 59.4%	116 3.5%	29 0.9%	3.4 0.71
Q9. 教員の工夫があったか	1454 44.2%	1080 32.8%	520 15.8%	152 4.6%	85 2.6%	4.1 1.00
Q10. 教員の対応やフィードバック	1667 50.7%	909 27.6%	512 15.6%	120 3.6%	83 2.5%	4.2 1.00
Q11. 解決すべき課題を見つけられるか	1192 36.2%	1079 32.8%	685 20.8%	222 6.7%	113 3.4%	3.9 1.07
Q12. 自らの考えを持てるか	1206 36.6%	1078 32.8%	648 19.7%	228 6.9%	131 4.0%	3.9 1.09
Q13. 総合評価	1616 49.1%	989 30.1%	473 14.4%	143 4.3%	70 2.1%	4.2 0.98

令和7年度前期 授業評価アンケート 集計結果(全体)

区分	全体	履修者数	4,919
		回答者数	2,644
		回答率	53.8%

設問	科目平均	区分平均	全体平均	回答数/構成比(%)					
				5	4	3	2	1	その他
選択式設問									
Q1			2.2	88	183	641	1,068	664	0
				3.3%	6.9%	24.2%	40.4%	25.1%	0.0%
Q2			4.1	1,046	966	535	78	19	0
				39.6%	36.5%	20.2%	3.0%	0.7%	0.0%
Q3			4.2	1,140	977	400	93	34	0
				43.1%	37.0%	15.1%	3.5%	1.3%	0.0%
Q4			4.0	999	1,009	426	159	51	0
				37.8%	38.2%	16.1%	6.0%	1.9%	0.0%
Q5			4.1	1,095	871	481	134	63	0
				41.4%	32.9%	18.2%	5.1%	2.4%	0.0%
Q6			4.2	1,249	856	378	104	57	0
				47.2%	32.4%	14.3%	3.9%	2.2%	0.0%
Q7			4.3	1,392	802	347	66	37	0
				52.6%	30.3%	13.1%	2.5%	1.4%	0.0%
Q8			3.4	217	729	1,599	68	31	0
				8.2%	27.6%	60.5%	2.6%	1.2%	0.0%
Q9			4.1	1,121	912	456	103	52	0
				42.4%	34.5%	17.2%	3.9%	2.0%	0.0%
Q10			4.2	1,264	790	450	87	53	0
				47.8%	29.9%	17.0%	3.3%	2.0%	0.0%
Q11			3.9	935	898	570	178	63	0
				35.4%	34.0%	21.6%	6.7%	2.4%	0.0%
Q12			3.9	944	909	556	168	67	0
				35.7%	34.4%	21.0%	6.4%	2.5%	0.0%
Q13			4.2	1,275	828	396	86	59	0
				48.2%	31.3%	15.0%	3.3%	2.2%	0.0%

【回答基準】 5: そう思う 4: ややそう思う 3: 普通 2: あまり思わない 1: 思わない



2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について

ここからは、科目カテゴリーごとに全科目との比較を通して単純集計結果を検討します。

<異文化交流科目：語学>

評価レーダーチャートに基づき、異文化交流科目群における語学教育科目の特徴を確認します。まず、全科目平均と比較すると、すべての評価項目ではほぼ同様の傾向を示していますが、以下の点で顕著な差が見られました。最大の上振れはQ1（1週間の平均的な学習時間）で、全体平均を0.6ポイント上回りました。この結果は例年通りであり、予習・復習を通じた反復学習が必須とされる語学教育の性質を反映したものと評価できます。一方、唯一の下振れはQ2（出席率）で、全体平均を0.3ポイント下回りました。1年生は週9時間以上、朝9時開始の授業を受けることが多く、授業開始時間の早さと授業時間数の多さが影響していると考えられます。学習効果を高めるためにも、今後の出席率向上に向けた対策が求められます。次に、経年変化として、昨年度の結果と比較すると、13項目中8項目で上昇、4項目で下降、1項目が変化なしでした。最大の上昇はQ5（到達目標の認識）で0.3ポイント上昇しました。下降した項目はQ2（出席率）、Q6（勉強法）、Q10（授業のレベル）、Q13（内容の理解度）の4項目で、すべて0.1ポイント下降しました。この下降傾向は、出席率の低下や「適切な勉強法がわからない」といった、一部の学生が学習についていけなくなっている状況を示唆していると見受けられます。入学者の学力や興味関心の多様化を踏まえると、より個別かつ手厚い学習サポートの必要性が増していると考えられます。

自由記述では、語学教育科目全般にわたり、「常に声を出して練習する点」や「先生が親身になって教えてくれた」といった、ネイティブ教員による熱心な指導や、発音・会話に特化した実践的な授業に対する肯定的な評価が多数確認されました。一方で、「進む速度が少し早い」、「テストや課題が多い」といった否定的な意見も少数見受けられましたが、多くの学生はこれらの課題や負荷を実力向上のための重要な要素として捉えており、「実力がついたと実感している」という肯定的なコメントが目立ちました。これらの結果から、質の高い実践的な授業は学生に評価されている一方で、学習進度や学習方法でつまづく学生へのケアが今後の課題であることが明確になりました。

令和6年度(2024年度) 授業評価アンケート集計結果(学部別)

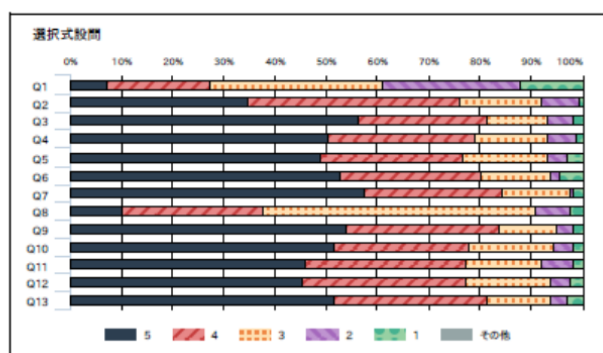
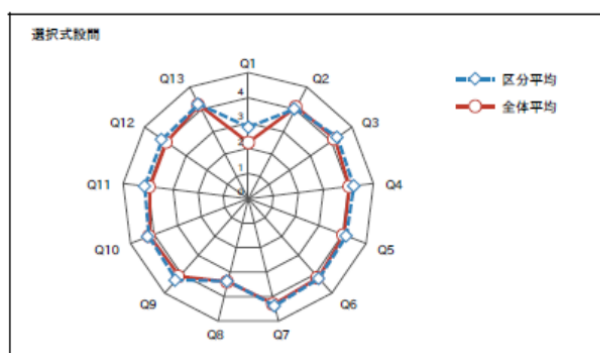
質問内容	上段:平均値					下段:標準偏差	
	5	4	3	2	1	カテゴリー	全科目
Q1. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）	14 6.3%	36 16.2%	70 31.5%	76 34.2%	26 11.7%	2.7	2.3
Q2. この授業への出席率	52 23.4%	104 46.8%	60 27.0%	4 1.8%	2 0.9%	3.9	3.9
Q3. 積極的に臨めたか	109 49.1%	75 33.8%	23 10.4%	9 4.1%	6 2.7%	4.2	4.1
Q4. 授業内容の理解度	91 41.0%	87 39.2%	30 13.5%	9 4.1%	5 2.3%	4.1	4.0
Q5. 到達目標の理解	91 41.0%	83 37.4%	31 14.0%	9 4.1%	8 3.6%	4.1	4.0
Q6. 成績評価の方法・基準の理解	105 47.3%	76 34.2%	26 11.7%	7 3.2%	8 3.6%	4.2	4.2
Q7. シラバスに沿っているか	126 56.8%	58 26.1%	27 12.2%	7 3.2%	4 1.8%	4.3	4.4
Q8. 難易度	17 7.7%	57 25.7%	130 58.6%	18 8.1%	0 0.0%	3.3	3.4
Q9. 教員の工夫があったか	117 52.7%	64 28.8%	32 14.4%	6 2.7%	3 1.4%	4.3	4.1
Q10. 教員の対応やフィードバック	119 53.6%	60 27.0%	30 13.5%	9 4.1%	4 1.8%	4.3	4.2
Q11. 解決すべき課題を見つげられるか	81 36.5%	84 37.8%	34 15.3%	18 8.1%	5 2.3%	4.0	3.9
Q12. 自らの考えを持てるか	76 34.2%	80 36.0%	43 19.4%	19 8.6%	4 1.8%	3.9	3.9
Q13. 総合評価	116 52.3%	59 26.6%	34 15.3%	8 3.6%	5 2.3%	4.2	4.2

令和7年度前期 授業評価アンケート 集計結果(学部別)

区分	異文化交流科目 語学	履修者数	297
		回答者数	167
		回答率	56.2%

設問	科目平均	区分平均	全体平均	回答数/構成比(%)					
				5	4	3	2	1	その他
選択式設問				5	4	3	2	1	その他
Q1	-	2.8	2.2	12 7.2%	34 20.4%	56 33.5%	45 26.9%	20 12.0%	0 0.0%
Q2	-	4.0	4.1	58 34.7%	69 41.3%	27 16.2%	12 7.2%	1 0.6%	0 0.0%
Q3	-	4.3	4.2	94 56.3%	42 25.1%	20 12.0%	8 4.8%	3 1.8%	0 0.0%
Q4	-	4.2	4.0	84 50.3%	48 28.7%	24 14.4%	9 5.4%	2 1.2%	0 0.0%
Q5	-	4.2	4.1	82 49.1%	46 27.5%	28 16.8%	6 3.6%	5 3.0%	0 0.0%
Q6	-	4.2	4.2	88 52.7%	46 27.5%	23 13.8%	3 1.8%	7 4.2%	0 0.0%
Q7	-	4.4	4.3	96 57.5%	45 26.9%	22 13.2%	1 0.6%	3 1.8%	0 0.0%
Q8	-	3.4	3.4	17 10.2%	46 27.5%	89 53.3%	11 6.6%	4 2.4%	0 0.0%
Q9	-	4.3	4.1	90 53.9%	50 29.9%	19 11.4%	5 3.0%	3 1.8%	0 0.0%
Q10	-	4.2	4.2	86 51.5%	44 26.3%	28 16.8%	6 3.6%	3 1.8%	0 0.0%
Q11	-	4.1	3.9	77 46.1%	52 31.1%	25 15.0%	10 6.0%	3 1.8%	0 0.0%
Q12	-	4.1	3.9	76 45.5%	53 31.7%	28 16.8%	6 3.6%	4 2.4%	0 0.0%
Q13	-	4.2	4.2	86 51.5%	50 29.9%	21 12.6%	5 3.0%	5 3.0%	0 0.0%

【回答基準】 5: そう思う 4: ややそう思う 3: 普通 2: あまり思わない 1: 思わない



<異文化交流科目：社会と文化（社会文化ゼミナール）>

「社会文化ゼミナール」は「社会と文化」という科目区分の中で唯一のゼミナール科目であり、1年生のほぼ全員が受講する重要な科目であるため、他の講義とは分けて分析を行いました。しかし、この科目の平均点は区分平均および全体平均と比較してほぼ同様の傾向を示しており、特筆すべき特徴は見られませんでした。最も差が出たのはQ6（成績評価の方法・基準）とQ13（総合評価）の2項目で、全体平均よりそれぞれ0.3ポイント低い結果となりました。これは、キャリアプラン、プレゼンテーション、ライティングといった領域ごとに評価方法や基準が異なるオムニバス形式であるため、各領域の基準、及びそれらを総合した全体の基準の把握が学生にとって難しいことに起因すると考えられます。各領域における評価基準のより丁寧な説明を実施することが、総合評価の向上につながる道筋であるといえます。次に、経年変化としては、微減ではあるものの6項目で下降しています。特に下降幅が大きかったのは、全体平均との比較でも課題となったQ6とQ13の2項目で0.4ポイント、次いでQ10（適切なフィードバック）が0.2ポイントの下降となりました。今年度は教員の海外出張や体調不良などにより、フィードバックの提供が遅れたことが影響したと推察されます。次年度以降は、教員体制を整え、フィードバックの遅延に適切に対処することで、総合評価を前年並みに回復させる必要があります。

自由記述では肯定的な意見が多数を占め、否定的意見は「特になし」がほとんどでした。少数見られた否定的意見は、「周りの人とのコミュニケーションの難しさ」や「内容の難しさ」といったものでした。肯定的な記述としては、「将来役に立ちそう」「わかりやすい」が非常に多く、「協力して一つのものを作り上げる大変さを学んだ」「一つずつ評価がされるのが、高いとやる気が出るので嬉しかった」など、難しさを乗り越えて成長を実感できたとする記述も散見されました。これらの結果から、本ゼミナールの教育効果は認められるものの、評価基準の明確化とフィードバックの迅速化が喫緊の課題であることが示されました。

令和6年度(2024年度) 授業評価アンケート集計結果(学部別)

上段:平均値
下段:標準偏差

回答分布(人数と平均値・標準偏差) ※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

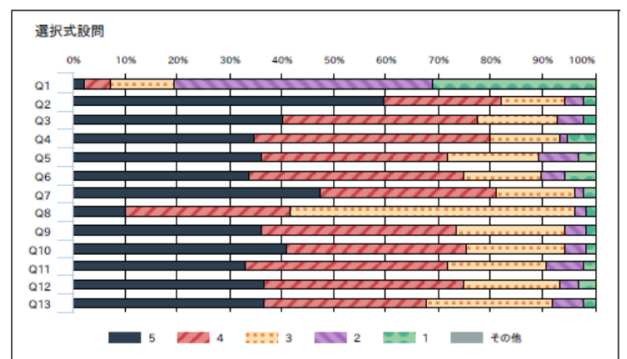
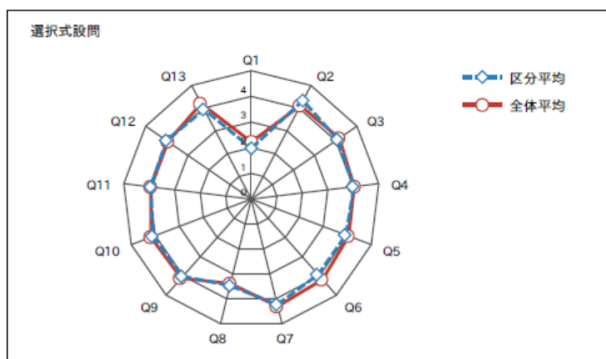
質問内容	5					カテゴリー		全科目	
	人数	平均値	標準偏差	人数	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
Q1. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	15	2.1%	2.1%	44	6.2%	6.2%	176	24.8%	24.8%
Q2. この授業への出席率	242	34.1%	34.1%	295	41.6%	41.6%	151	21.3%	21.3%
Q3. 積極的に臨めたか	302	42.6%	42.6%	254	35.8%	35.8%	110	15.5%	15.5%
Q4. 授業内容の理解度	260	36.7%	36.7%	260	36.7%	36.7%	118	16.6%	16.6%
Q5. 到達目標の理解	243	34.3%	34.3%	240	33.9%	33.9%	144	20.3%	20.3%
Q6. 成績評価の方法・基準の理解	377	53.2%	53.2%	198	27.9%	27.9%	90	12.7%	12.7%
Q7. シラバスに沿っているか	403	56.8%	56.8%	198	27.9%	27.9%	90	12.7%	12.7%
Q8. 難易度	43	6.1%	6.1%	173	24.4%	24.4%	464	65.4%	65.4%
Q9. 教員の工夫があったか	308	43.4%	43.4%	236	33.3%	33.3%	117	16.5%	16.5%
Q10. 教員の対応やフィードバック	380	53.6%	53.6%	190	26.8%	26.8%	105	14.8%	14.8%
Q11. 解決すべき課題を見つけられるか	258	36.4%	36.4%	230	32.4%	32.4%	164	23.1%	23.1%
Q12. 自らの考えを持てるか	271	38.2%	38.2%	236	33.3%	33.3%	142	20.0%	20.0%
Q13. 総合評価	360	50.8%	50.8%	235	33.1%	33.1%	81	11.4%	11.4%

令和7年度前期 授業評価アンケート 集計結果(学部別)

区分	異文化交流科目 社会と文化(社会文化ゼミナール)	履修者数	231
		回答者数	139
		回答率	60.2%

設問	科目平均	区分平均	全体平均	回答数/構成比(%)						
				5	4	3	2	1	その他	
選択式設問										
Q1 この科目の一週間の平均的な学習時間(予習・復習)はどれくらいですか?	-	2.0	2.2	3 2.2%	7 5.0%	17 12.2%	69 49.6%	43 30.9%	0 0.0%	
Q2 この科目の授業にどれくらい出席していますか?(オンライン授業については、課題を学習した場合は出席したと考える。)	-	4.3	4.1	83 59.7%	31 22.3%	17 12.2%	5 3.6%	3 2.2%	0 0.0%	
Q3 この科目の授業に積極的に臨んでいますか?	-	4.1	4.2	56 40.3%	52 37.4%	21 15.1%	7 5.0%	3 2.2%	0 0.0%	
Q4 この科目の授業内容を理解できていますか?	-	4.0	4.0	48 34.5%	63 45.3%	19 13.7%	2 1.4%	7 5.0%	0 0.0%	
Q5 この科目の到達目標を知っていますか?	-	3.9	4.1	50 36.0%	50 36.0%	24 17.3%	11 7.9%	4 2.9%	0 0.0%	
Q6 この科目の成績評価の方法・基準を知っていますか?	-	3.9	4.2	47 33.8%	57 41.0%	21 15.1%	6 4.3%	8 5.8%	0 0.0%	
Q7 この科目の授業内容はシラバスに沿って行われていますか?	-	4.2	4.3	66 47.5%	47 33.8%	21 15.1%	2 1.4%	3 2.2%	0 0.0%	
Q8 この科目の難易度についてどう思いますか?	-	3.5	3.4	14 10.1%	44 31.7%	76 54.7%	3 2.2%	2 1.4%	0 0.0%	
Q9 担当教員はこの科目への積極的な参加や自発的な学習を促すように工夫していますか?	-	4.0	4.1	50 36.0%	52 37.4%	29 20.9%	6 4.3%	2 1.4%	0 0.0%	
Q10 担当教員は質問や相談の対応およびフィードバックを適切に行っていましたか?	-	4.1	4.2	57 41.0%	48 34.5%	26 18.7%	6 4.3%	2 1.4%	0 0.0%	
Q11 この科目の受講を通して、解決すべき課題を自ら見出せるようになったと感じますか?	-	3.9	3.9	46 33.1%	54 38.8%	26 18.7%	10 7.2%	3 2.2%	0 0.0%	
Q12 この科目の受講を通して、自らの考えを持てるようになったと感じますか?	-	4.0	3.9	51 36.7%	53 38.1%	26 18.7%	5 3.6%	4 2.9%	0 0.0%	
Q13 この科目の総合評価を5段階で選択してください。	-	3.9	4.2	51 36.7%	43 30.9%	34 24.5%	8 5.8%	3 2.2%	0 0.0%	

【回答基準】 5: そう思う 4: ややそう思う 3: 普通 2: あまり思わない 1: 思わない



<異文化交流科目：社会と文化（社会文化ゼミナール以外）>

異文化交流科目のうち、「社会文化ゼミナール」以外の講義形式の「社会と文化」科目について分析しました。全科目平均と比較した場合、多くの項目で0.1ポイント以内の差しかなく、ほぼ同様の数値を示しており、標準偏差を踏まえても全科目平均と有意な差があるとは言えません。経年変化においても、上昇した項目4つ、下降した項目5つ、変化なしが4つとなっており、ほぼ例年通りの傾向です。特筆すべき点として、Q13の総合評価は4.2を示し、その中でも「5」の評価が約50%という非常に高い評価を得ています。

自由記述に関しても、例年通り課題量や難易度への指摘などもありましたが、好意的な評価が多数を占めていました。今回目立ったのは、「新しい仲間とのグループワークを通して、協調性などを学ぶことができた」「グループワークを混ぜた授業で、楽しい」といった記述です。これは複数の授業に関して見られた意見であり、大学全体として推進しているグループワークやフィールドワークが、学生に積極的に受け入れられていることを示しています。「もう少しだけスライドのスピードを遅くしてほしい」「課題の文字数を少なくしてほしい」といった軽微な要望がほとんどでしたが、「小テストはマナバではなく紙でやりたい。不正をしていた人がある」という重大な指摘も含まれていました。形式にかかわらず不正行為を完全に防止することは困難ですが、教員側は引き続き、見回りを含めた不正をさせない方法や仕組みづくりを継続的に検討・実施していく必要があります。これらの結果から、「社会と文化」（講義形式）科目は、高い総合評価と、実践的な学習活動への積極的な評価を得ている一方で、公正な試験環境の維持が課題であると結論付けられます。

令和6年度(2024年度) 授業評価アンケート集計結果(学部別)

回答分布(人数と平均値・標準偏差) ※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

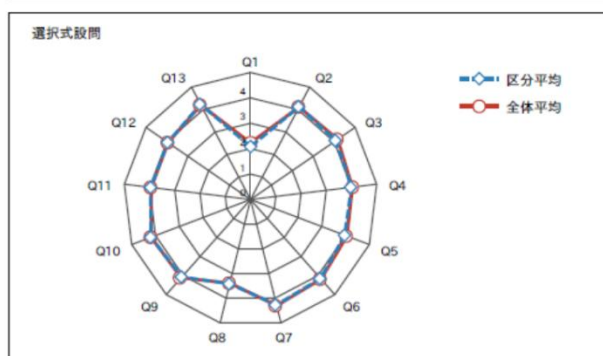
質問内容	上段:平均値					下段:標準偏差	
	5	4	3	2	1	カテゴリ	全科目
Q1. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	15 2.1%	44 6.2%	176 24.8%	278 39.2%	196 27.6%	2.2 0.97	2.3 1.00
Q2. この授業への出席率	242 34.1%	295 41.6%	151 21.3%	14 2.0%	7 1.0%	4.1 0.85	3.9 0.84
Q3. 積極的に臨めたか	302 42.6%	254 35.8%	110 15.5%	30 4.2%	13 1.8%	4.1 0.95	4.1 0.96
Q4. 授業内容の理解度	260 36.7%	260 36.7%	118 16.6%	56 7.9%	15 2.1%	4.0 1.02	4.0 1.03
Q5. 到達目標の理解	243 34.3%	240 33.9%	144 20.3%	50 7.1%	32 4.5%	3.9 1.10	4.0 1.08
Q6. 成績評価の方法・基準の理解	377 53.2%	198 27.9%	90 12.7%	31 4.4%	13 1.8%	4.3 0.96	4.2 1.00
Q7. シラバスに沿っているか	403 56.8%	198 27.9%	90 12.7%	9 1.3%	9 1.3%	4.4 0.85	4.4 0.90
Q8. 難易度	43 6.1%	173 24.4%	464 65.4%	23 3.2%	6 0.8%	3.3 0.67	3.4 0.71
Q9. 教員の工夫があったか	308 43.4%	236 33.3%	117 16.5%	36 5.1%	12 1.7%	4.1 0.97	4.1 1.00
Q10. 教員の対応やフィードバック	380 53.6%	190 26.8%	105 14.8%	19 2.7%	15 2.1%	4.3 0.95	4.2 1.00
Q11. 解決すべき課題を見つけられるか	258 36.4%	230 32.4%	164 23.1%	37 5.2%	20 2.8%	3.9 1.03	3.9 1.07
Q12. 自らの考えを持てるか	271 38.2%	236 33.3%	142 20.0%	39 5.5%	21 3.0%	4.0 1.03	3.9 1.09
Q13. 総合評価	360 50.8%	235 33.1%	81 11.4%	20 2.8%	13 1.8%	4.3 0.91	4.2 0.98

令和7年度前期 授業評価アンケート 集計結果(学部別)

区分	異文化交流科目 社会と文化(社会文化・異文化ゼミナール以外)	履修者数	929
		回答者数	538
		回答率	57.9%

設問	科目平均	区分平均	全体平均	回答数/構成比(%)					
				5	4	3	2	1	その他
選択式設問									
Q1	-	2.1	2.2	14	31	103	228	162	0
				2.6%	5.8%	19.1%	42.4%	30.1%	0.0%
Q2	-	4.1	4.1	227	182	103	21	5	0
				42.2%	33.8%	19.1%	3.9%	0.9%	0.0%
Q3	-	4.1	4.2	204	213	94	18	9	0
				37.9%	39.6%	17.5%	3.3%	1.7%	0.0%
Q4	-	4.0	4.0	190	215	88	33	12	0
				35.3%	40.0%	16.4%	6.1%	2.2%	0.0%
Q5	-	4.0	4.1	196	177	125	30	10	0
				36.4%	32.9%	23.2%	5.6%	1.9%	0.0%
Q6	-	4.2	4.2	230	200	77	24	7	0
				42.8%	37.2%	14.3%	4.5%	1.3%	0.0%
Q7	-	4.3	4.3	276	167	68	19	8	0
				51.3%	31.0%	12.6%	3.5%	1.5%	0.0%
Q8	-	3.4	3.4	57	138	324	10	9	0
				10.6%	25.7%	60.2%	1.9%	1.7%	0.0%
Q9	-	4.1	4.1	209	198	99	25	7	0
				38.8%	36.8%	18.4%	4.6%	1.3%	0.0%
Q10	-	4.2	4.2	253	171	89	16	9	0
				47.0%	31.8%	16.5%	3.0%	1.7%	0.0%
Q11	-	4.0	3.9	185	187	133	24	9	0
				34.4%	34.8%	24.7%	4.5%	1.7%	0.0%
Q12	-	4.0	3.9	184	195	120	29	10	0
				34.2%	36.2%	22.3%	5.4%	1.9%	0.0%
Q13	-	4.2	4.2	268	166	76	16	12	0
				49.8%	30.9%	14.1%	3.0%	2.2%	0.0%

【回答基準】5: そう思う 4: ややそう思う 3: 普通 2: あまり思わない 1: 思わない



＜専門基礎科目＞

専門基礎科目は全科目（データサイエンス・AI論、経済システム理論I、経済と社会のしくみI、コンピューター・リテラシー）が必修科目となっています。またいずれも、複数教員が分担する形で講義を実施しています。＜評価レーダーチャート＞を見ると、専門基礎科目では全科目平均の評価を下回る項目が若干多くなっています。一方で、＜評価値の経年変化＞については、ほとんどの項目で前年を上回っており、改善が見られたものと考えられます。

自由記述欄を見ると、良かった点として、スライド、動画、オンライン教材の活用、丁寧な説明・指導、達成すべき課題の明確化などがあげられていました。学生の理解を増進する工夫を引き続き取り入れていくことが、学生の理解度・満足度を高めるために有効と考えられます。今後、改善してほしい点として、同じ科目でもクラスによって、出席確認や試験の方法が異なることが指摘されています。経済と社会の仕組みIでは、今年度からオムニバス形式での講義を取り入れ、担当教員（クラス）による試験の難易度の違いなどの不公平感の解消に取り組みました。しかし、教員間での授業や試験の実施方法の差についての不満が見られたことから、教員間で講義の到達目標などを改めて確認・共有する必要があると考えられます。特に課題や試験問題については、複数人でチェックを行ってほしいという意見もありました。

令和6年度（2024年度） 授業評価アンケート集計結果（学部別）

上段：平均値
下段：標準偏差

回答分布（人数と平均値・標準偏差） ※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

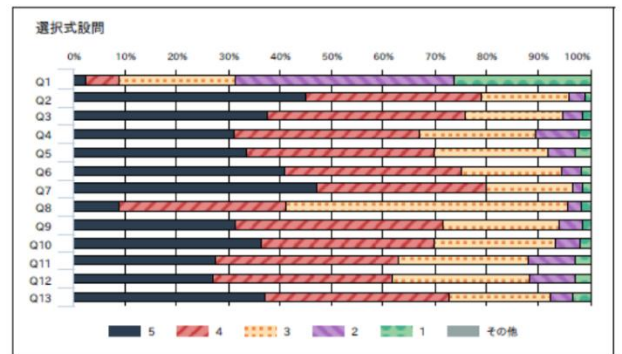
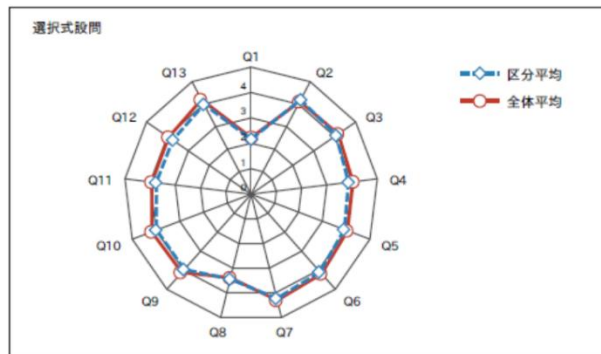
質問内容	5	4	3	2	1	カテゴリー	全科目
Q1. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）	18 3.2%	40 7.1%	170 30.2%	211 37.5%	124 22.0%	2.3 1.00	2.3 1.00
Q2. この授業への出席率	191 33.9%	206 36.6%	146 25.9%	15 2.7%	5 0.9%	4.0 0.89	3.9 0.84
Q3. 積極的に臨めたか	199 35.3%	206 36.6%	109 19.4%	41 7.3%	8 1.4%	4.0 0.98	4.1 0.96
Q4. 授業内容の理解度	146 25.9%	198 35.2%	129 22.9%	65 11.5%	25 4.4%	3.7 1.11	4.0 1.03
Q5. 到達目標の理解	167 29.7%	184 32.7%	122 21.7%	62 11.0%	28 5.0%	3.7 1.15	4.0 1.08
Q6. 成績評価の方法・基準の理解	221 39.3%	200 35.5%	73 13.0%	51 9.1%	18 3.2%	4.0 1.08	4.2 1.00
Q7. シラバスに沿っているか	272 48.3%	181 32.1%	79 14.0%	17 3.0%	14 2.5%	4.2 0.96	4.4 0.90
Q8. 難易度	54 9.6%	227 40.3%	258 45.8%	17 3.0%	7 1.2%	3.5 0.76	3.4 0.71
Q9. 教員の工夫があったか	194 34.5%	191 33.9%	118 21.0%	35 6.2%	25 4.4%	3.9 1.09	4.1 1.00
Q10. 教員の対応やフィードバック	215 38.2%	157 27.9%	134 23.8%	32 5.7%	25 4.4%	3.9 1.11	4.2 1.00
Q11. 解決すべき課題を見つけられるか	147 26.1%	158 28.1%	157 27.9%	65 11.5%	36 6.4%	3.6 1.18	3.9 1.07
Q12. 自らの考えを持てるか	143 25.4%	147 26.1%	158 28.1%	75 13.3%	40 7.1%	3.5 1.20	3.9 1.09
Q13. 総合評価	203 36.1%	180 32.0%	117 20.8%	40 7.1%	23 4.1%	3.9 1.10	4.2 0.98

令和7年度前期 授業評価アンケート 集計結果(学部別)

区分	専門基礎科目	履修者数	806
		回答者数	572
		回答率	71.0%

設問	科目 平均	区分 平均	全体 平均	回答数/構成比(%)						
				5	4	3	2	1	その他	
選択式設問										
Q1 この科目の一週間の平均的な学習時間(予習・復習)はどれくらいですか?	-	2.2	2.2	13 2.3%	38 6.6%	129 22.6%	241 42.1%	151 26.4%	0 0.0%	
Q2 この科目の授業にどれくらい出席していますか?(オンライン授業については、課題を学習した場合は出席したと考える。)	-	4.2	4.1	258 45.1%	195 34.1%	97 17.0%	17 3.0%	5 0.9%	0 0.0%	
Q3 この科目の授業に積極的に臨んでいますか?	-	4.1	4.2	215 37.6%	218 38.1%	110 19.2%	23 4.0%	6 1.0%	0 0.0%	
Q4 この科目の授業内容を理解できていますか?	-	3.9	4.0	178 31.1%	207 36.2%	127 22.2%	48 8.4%	12 2.1%	0 0.0%	
Q5 この科目の到達目標を知っていますか?	-	3.9	4.1	191 33.4%	208 36.4%	127 22.2%	30 5.2%	16 2.8%	0 0.0%	
Q6 この科目の成績評価の方法・基準を知っていますか?	-	4.1	4.2	234 40.9%	196 34.3%	111 19.4%	23 4.0%	8 1.4%	0 0.0%	
Q7 この科目の授業内容はシラバスに沿って行われていますか?	-	4.2	4.3	269 47.0%	189 33.0%	95 16.6%	13 2.3%	6 1.0%	0 0.0%	
Q8 この科目の難易度についてどう思いますか?	-	3.4	3.4	51 8.9%	184 32.2%	313 54.7%	16 2.8%	8 1.4%	0 0.0%	
Q9 担当教員はこの科目への積極的な参加や自発的な学修を促すように工夫していますか?	-	4.0	4.1	180 31.5%	229 40.0%	128 22.4%	28 4.9%	7 1.2%	0 0.0%	
Q10 担当教員は質問や相談の対応およびフィードバックを適切に行っていましたか?	-	4.0	4.2	208 36.4%	191 33.4%	136 23.8%	26 4.5%	11 1.9%	0 0.0%	
Q11 この科目の受講を通して、解決すべき課題を自ら見出せるようになったと感じますか?	-	3.8	3.9	157 27.4%	204 35.7%	143 25.0%	53 9.3%	15 2.6%	0 0.0%	
Q12 この科目の受講を通して、自らの考えを持てるようになったと感じますか?	-	3.7	3.9	156 27.3%	198 34.6%	151 26.4%	51 8.9%	16 2.8%	0 0.0%	
Q13 この科目の総合評価を5段階で選択してください。	-	4.0	4.2	211 36.9%	206 36.0%	112 19.6%	25 4.4%	18 3.1%	0 0.0%	

【回答基準】 5: そう思う 4: ややそう思う 3: 普通 2: あまり思わない 1: 思わない



<専門関連科目>

専門関連科目は、商学科・観光産業学科の専門科目に関連した科目となっており、幅広い内容の科目が含まれています。<評価レーダーチャート>を見ると、専門関連科目の評価は、全科目平均とほぼ一致しています。<評価値の経年変化>については、それぞれの項目で0.1ポイント程度の増減がありました。傾向的なものかどうかは引き続き調べる必要があるでしょう。

自由記述欄を見ると、良かった点として、動画の活用など教材の工夫、学生との活発なコミュニケーション、グループワーク・資料作成・プレゼンなどのアクティブラーニング導入などがあげられていました。また、少人数教育の特性を生かし、教員と密にやり取りをする取り組みが高く評価されているようです。一方で、今後、改善してほしい点は、理解促進のための例題を増やしてほしい、資料を配布してほしい、講義時間を遵守してほしい、簡単すぎるなど多岐にわたりました。教員は各講義の授業アンケート結果に基づいた対応が必要と考えられます。

令和6年度(2024年度) 授業評価アンケート集計結果(学部別)

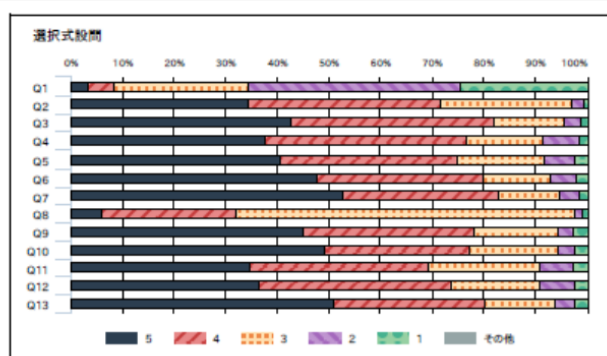
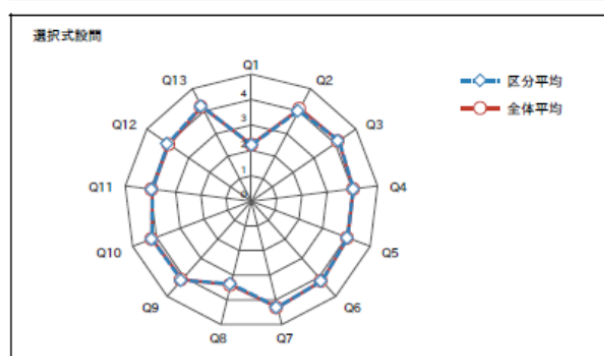
質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差) ※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。					上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	カテゴリー	全科目
Q1. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	37 3.6%	81 8.0%	239 23.5%	418 41.1%	241 23.7%	2.3	2.3
Q2. この授業への出席率	190 18.7%	437 43.0%	354 34.8%	28 2.8%	7 0.7%	3.8	3.9
Q3. 積極的に臨めたか	420 41.3%	376 37.0%	147 14.5%	53 5.2%	20 2.0%	4.1	4.1
Q4. 授業内容の理解度	385 37.9%	412 40.6%	129 12.7%	54 5.3%	36 3.5%	4.0	4.0
Q5. 到達目標の理解	393 38.7%	351 34.5%	175 17.2%	61 6.0%	36 3.5%	4.0	4.0
Q6. 成績評価の方法・基準の理解	524 51.6%	318 31.3%	103 10.1%	39 3.8%	32 3.1%	4.2	4.2
Q7. シラバスに沿っているか	577 56.8%	281 27.7%	109 10.7%	33 3.2%	16 1.6%	4.3	4.4
Q8. 難易度	76 7.5%	291 28.6%	608 59.8%	31 3.1%	10 1.0%	3.4	3.4
Q9. 教員の工夫があったか	455 44.8%	336 33.1%	156 15.4%	42 4.1%	27 2.7%	4.1	4.1
Q10. 教員の対応やフィードバック	528 52.0%	279 27.5%	143 14.1%	40 3.9%	26 2.6%	4.2	4.2
Q11. 解決すべき課題を見つけられるか	398 39.2%	324 31.9%	210 20.7%	56 5.5%	28 2.8%	4.0	3.9
Q12. 自らの考えを持てるか	403 39.7%	354 34.8%	174 17.1%	45 4.4%	40 3.9%	4.0	3.9
Q13. 総合評価	539 53.1%	278 27.4%	134 13.2%	49 4.8%	16 1.6%	4.3	4.2

令和7年度前期 授業評価アンケート 集計結果(学部別)

区分	専門関連科目	履修者数	1,400
		回答者数	652
		回答率	46.6%

設問	科目平均	区分平均	全体平均	回答数/構成比(%)					
				5	4	3	2	1	その他
選択式設問									
Q1	-	2.2	2.2	22	33	169	269	159	0
				3.4%	5.1%	25.9%	41.3%	24.4%	0.0%
Q2	-	4.0	4.1	223	244	165	16	4	0
				34.2%	37.4%	25.3%	2.5%	0.6%	0.0%
Q3	-	4.2	4.2	278	257	89	21	7	0
				42.6%	39.4%	13.7%	3.2%	1.1%	0.0%
Q4	-	4.0	4.0	245	256	96	45	10	0
				37.6%	39.3%	14.7%	6.9%	1.5%	0.0%
Q5	-	4.1	4.1	264	224	112	37	15	0
				40.5%	34.4%	17.2%	5.7%	2.3%	0.0%
Q6	-	4.2	4.2	311	211	86	30	14	0
				47.7%	32.4%	13.2%	4.6%	2.1%	0.0%
Q7	-	4.3	4.3	344	198	77	24	9	0
				52.8%	30.4%	11.8%	3.7%	1.4%	0.0%
Q8	-	3.3	3.4	38	171	427	10	6	0
				5.8%	26.2%	65.5%	1.5%	0.9%	0.0%
Q9	-	4.2	4.1	294	215	108	17	18	0
				45.1%	33.0%	16.6%	2.6%	2.8%	0.0%
Q10	-	4.2	4.2	321	184	111	21	15	0
				49.2%	28.2%	17.0%	3.2%	2.3%	0.0%
Q11	-	3.9	3.9	226	225	142	42	17	0
				34.7%	34.5%	21.8%	6.4%	2.6%	0.0%
Q12	-	4.0	3.9	237	244	113	43	15	0
				36.3%	37.4%	17.3%	6.6%	2.3%	0.0%
Q13	-	4.2	4.2	332	191	91	23	15	0
				50.9%	29.3%	14.0%	3.5%	2.3%	0.0%

【回答基準】 5: そう思う 4: ややそう思う 3: 普通 2: あまり思わない 1: 思わない



＜商学科専門科目＞

評価レーダーチャートより、カテゴリー平均は、全科目平均と概ね同等といえますが、「Q6.成績評価の方法・基準の理解」が、全科目平均よりもカテゴリー平均が高いという結果になりました。＜評価値の経年変化＞については、それぞれの項目で0.1ポイント程度の増減がありましたが、傾向的なものかどうかは引き続き調べる必要があるでしょう。自由記述欄において、「良かった点」とされる、「復習テストでその日のうちに確認ができる」など、即時的な成果を示すことが望まれているようです。また、「改善して欲しい点」は、「本当の正解がわからない」といったような説明の不足や、教室のキャパシティなどが指摘されています。

令和6年度(2024年度) 授業評価アンケート集計結果(学部別)

回答分布(人数と平均値・標準偏差) ※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

上段: 平均値
下段: 標準偏差

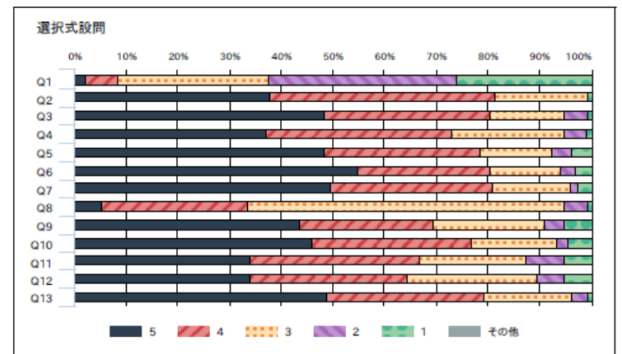
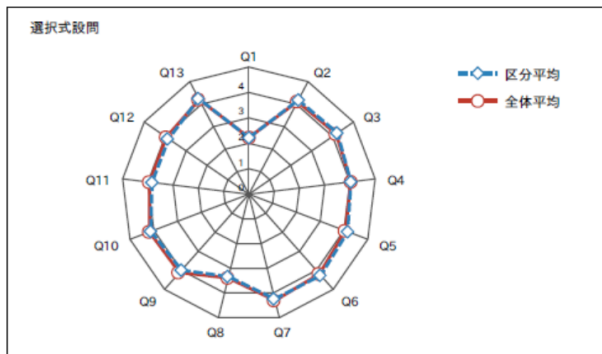
質問内容	5	4	3	2	1	カテゴリー	全科目
Q1. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	1 0.4%	22 9.6%	59 25.8%	90 39.3%	57 24.9%	2.2 0.94	2.3 1.00
Q2. この授業への出席率	59 25.8%	99 43.2%	65 28.4%	4 1.7%	2 0.9%	3.9 0.83	3.9 0.84
Q3. 積極的に臨めたか	101 44.1%	78 34.1%	31 13.5%	14 6.1%	5 2.2%	4.1 1.00	4.1 0.96
Q4. 授業内容の理解度	79 34.5%	84 36.7%	37 16.2%	22 9.6%	7 3.1%	3.9 1.08	4.0 1.03
Q5. 到達目標の理解	99 43.2%	77 33.6%	28 12.2%	13 5.7%	12 5.2%	4.0 1.12	4.0 1.08
Q6. 成績評価の方法・基準の理解	120 52.4%	75 32.8%	18 7.9%	10 4.4%	6 2.6%	4.3 0.97	4.2 1.00
Q7. シラバスに沿っているか	127 55.5%	69 30.1%	17 7.4%	8 3.5%	8 3.5%	4.3 0.99	4.4 0.90
Q8. 難易度	12 5.2%	67 29.3%	139 60.7%	9 3.9%	2 0.9%	3.3 0.68	3.4 0.71
Q9. 教員の工夫があったか	102 44.5%	78 34.1%	26 11.4%	11 4.8%	12 5.2%	4.1 1.10	4.1 1.00
Q10. 教員の対応やフィードバック	108 47.2%	68 29.7%	35 15.3%	8 3.5%	10 4.4%	4.1 1.07	4.2 1.00
Q11. 解決すべき課題を見つけられるか	77 33.6%	82 35.8%	39 17.0%	18 7.9%	13 5.7%	3.8 1.14	3.9 1.07
Q12. 自らの考えを持てるか	83 36.2%	77 33.6%	41 17.9%	17 7.4%	11 4.8%	3.9 1.12	3.9 1.09
Q13. 総合評価	108 47.2%	68 29.7%	37 16.2%	9 3.9%	7 3.1%	4.1 1.02	4.2 0.98

令和7年度前期 授業評価アンケート 集計結果(学部別)

区分	商学科専門科目	履修者数	430
		回答者数	200
		回答率	46.5%

設問	科目平均	区分平均	全体平均	回答数/構成比(%)							
				5	4	3	2	1	その他		
選択式設問											
Q1				4	13	58	73	52	0		
				2.0%	6.5%	29.0%	36.5%	26.0%	0.0%		
Q2				76	87	36	0	1	0		
				38.0%	43.5%	18.0%	0.0%	0.5%	0.0%		
Q3				97	64	29	9	1	0		
				48.5%	32.0%	14.5%	4.5%	0.5%	0.0%		
Q4				74	72	44	8	2	0		
				37.0%	36.0%	22.0%	4.0%	1.0%	0.0%		
Q5				97	60	28	8	7	0		
				48.5%	30.0%	14.0%	4.0%	3.5%	0.0%		
Q6				110	51	27	6	6	0		
				55.0%	25.5%	13.5%	3.0%	3.0%	0.0%		
Q7				99	63	30	3	5	0		
				49.5%	31.5%	15.0%	1.5%	2.5%	0.0%		
Q8				11	56	123	9	1	0		
				5.5%	28.0%	61.5%	4.5%	0.5%	0.0%		
Q9				87	52	43	8	10	0		
				43.5%	26.0%	21.5%	4.0%	5.0%	0.0%		
Q10				92	62	33	4	9	0		
				46.0%	31.0%	16.5%	2.0%	4.5%	0.0%		
Q11				68	66	41	15	10	0		
				34.0%	33.0%	20.5%	7.5%	5.0%	0.0%		
Q12				68	61	50	11	10	0		
				34.0%	30.5%	25.0%	5.5%	5.0%	0.0%		
Q13				98	61	34	6	1	0		
				49.0%	30.5%	17.0%	3.0%	0.5%	0.0%		

【回答基準】 5: そう思う 4: ややそう思う 3: 普通 2: あまり思わない 1: 思わない



<観光産業学科専門科目>

評価レーダーチャートより、カテゴリー平均は、ほぼすべての項目において全科目平均よりも高い結果となりました。「Q3.積極的に臨めたか」が4.4、「Q5.到達目標の理解」が4.3、「Q6.成績評価の方法・基準の理解」が4.3、「Q7.シラバスに沿っているか」が4.5など、高い評価を得ています。また、これらの項目は、評価値の経年変化でも、前年度カテゴリー平均とほぼ変わらず、高いレベルを維持しています。自由記述欄において「良かった点」は、37件にのびりました。グループワークやアクティブ・ラーニングに対し、高く評価する記述が多く見られました。他方、「改善して欲しい点」は、4件のみでした。進行速度やグルーピングに関するもので、これらのお大半は個々の教員による改善により解消できる内容と考えられます。

令和6年度(2024年度) 授業評価アンケート集計結果(学部別)

回答分布(人数と平均値・標準偏差) ※標準偏差の大小は、回答のパラツキの大小を表す。

上段:平均値
下段:標準偏差

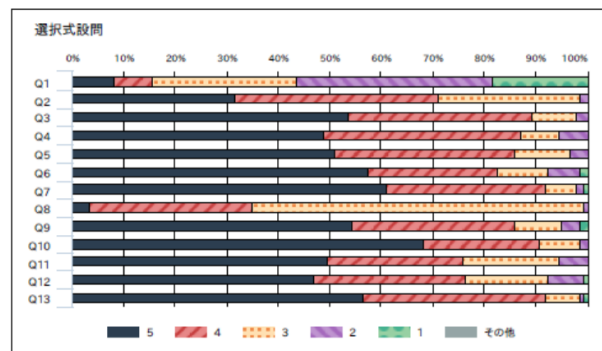
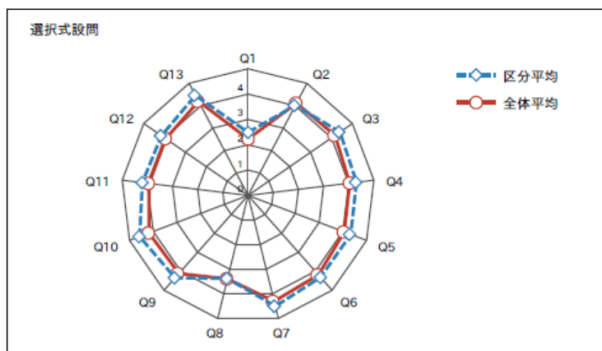
質問内容						カテゴリー	全科目
	5	4	3	2	1		
Q1. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	7 5.9%	11 9.2%	26 21.8%	50 42.0%	25 21.0%	2.4 1.09	2.3 1.00
Q2. この授業への出席率	22 18.5%	68 57.1%	27 22.7%	1 0.8%	1 0.8%	3.9 0.72	3.9 0.84
Q3. 積極的に臨めたか	65 54.6%	40 33.6%	12 10.1%	0 0.0%	2 1.7%	4.4 0.80	4.1 0.96
Q4. 授業内容の理解度	51 42.9%	41 34.5%	19 16.0%	4 3.4%	4 3.4%	4.1 1.01	4.0 1.03
Q5. 到達目標の理解	65 54.6%	33 27.7%	14 11.8%	4 3.4%	3 2.5%	4.3 0.97	4.0 1.08
Q6. 成績評価の方法・基準の理解	75 63.0%	27 22.7%	12 10.1%	2 1.7%	3 2.5%	4.4 0.92	4.2 1.00
Q7. シラバスに沿っているか	85 71.4%	22 18.5%	7 5.9%	4 3.4%	1 0.8%	4.6 0.82	4.4 0.90
Q8. 難易度	10 8.4%	40 33.6%	67 56.3%	2 1.7%	0 0.0%	3.5 0.67	3.4 0.71
Q9. 教員の工夫があったか	73 61.3%	24 20.2%	17 14.3%	2 1.7%	3 2.5%	4.4 0.96	4.1 1.00
Q10. 教員の対応やフィードバック	83 69.7%	20 16.8%	11 9.2%	3 2.5%	2 1.7%	4.5 0.89	4.2 1.00
Q11. 解決すべき課題を見つけられるか	58 48.7%	39 32.8%	17 14.3%	3 2.5%	2 1.7%	4.2 0.91	3.9 1.07
Q12. 自らの考えを持てるか	56 47.1%	40 33.6%	12 10.1%	10 8.4%	1 0.8%	4.2 0.98	3.9 1.09
Q13. 総合評価	76 63.9%	29 24.4%	9 7.6%	4 3.4%	1 0.8%	4.5 0.84	4.2 0.98

令和7年度前期 授業評価アンケート 集計結果(学部別)

区分	観光産業学科専門科目	履修者数	342
		回答者数	149
		回答率	43.6%

設問	科目平均	区分平均	全体平均	回答数/構成比(%)							
				5	4	3	2	1	その他		
選択式設問											
Q1				12	11	42	57	27	0		
				8.1%	7.4%	28.2%	38.3%	18.1%	0.0%		
Q2				47	59	41	2	0	0		
				31.5%	39.6%	27.5%	1.3%	0.0%	0.0%		
Q3				80	53	13	3	0	0		
				53.7%	35.6%	8.7%	2.0%	0.0%	0.0%		
Q4				73	57	11	8	0	0		
				49.0%	38.3%	7.4%	5.4%	0.0%	0.0%		
Q5				76	52	16	5	0	0		
				51.0%	34.9%	10.7%	3.4%	0.0%	0.0%		
Q6				86	37	15	9	2	0		
				57.7%	24.8%	10.1%	6.0%	1.3%	0.0%		
Q7				91	46	9	2	1	0		
				61.1%	30.9%	6.0%	1.3%	0.7%	0.0%		
Q8				5	47	96	1	0	0		
				3.4%	31.5%	64.4%	0.7%	0.0%	0.0%		
Q9				81	47	14	5	2	0		
				54.4%	31.5%	9.4%	3.4%	1.3%	0.0%		
Q10				102	33	12	2	0	0		
				68.5%	22.1%	8.1%	1.3%	0.0%	0.0%		
Q11				74	39	28	8	0	0		
				49.7%	26.2%	18.8%	5.4%	0.0%	0.0%		
Q12				70	44	24	10	1	0		
				47.0%	29.5%	16.1%	6.7%	0.7%	0.0%		
Q13				84	53	10	1	1	0		
				56.4%	35.6%	6.7%	0.7%	0.7%	0.0%		

【回答基準】 5: そう思う 4: ややそう思う 3: 普通 2: あまり思わない 1: 思わない



<専門キャリアアップ科目>

評価レーダーチャートより、カテゴリー平均は、前回と同様、ほぼ全項目において全科目平均よりも高い結果となりました。このカテゴリーは資格試験を意識したキャリアアップを目指す科目群であり、「Q3. 積極的に臨めたか」、「Q4. 授業内容の理解度」、「Q5. 到達目標の理解度」など、内容の習得に関わる項目で、特に高い評価値となっています。また、「Q1. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」については、前回同様、今年度の全科目平均と比較してやや高い結果でした。これは、授業の時間以外での学習する工夫が功を奏したものと考えられます。

自由記述には、学習内容の理解度向上や定着の工夫を評価するコメントが見られる一方、少ないながらも、教授法について工夫を求める指摘が見られました。

令和6年度(2024年度) 授業評価アンケート集計結果(学部別)

回答分布(人数と平均値・標準偏差) ※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

上段: 平均値
下段: 標準偏差

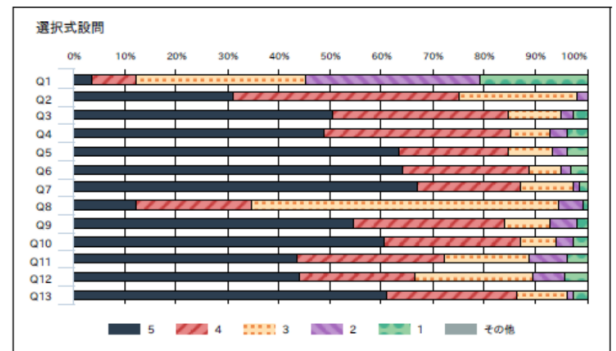
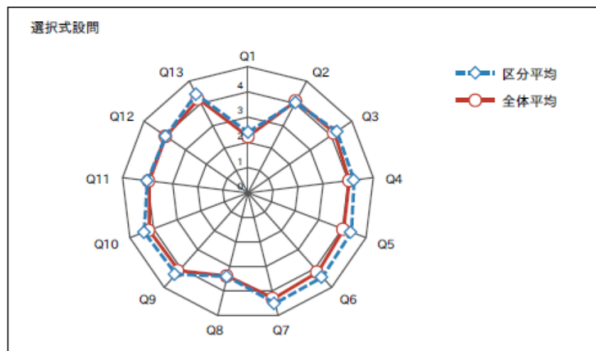
質問内容	5	4	3	2	1	カテゴリー	全科目
Q1. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	3 1.7%	11 6.3%	58 33.3%	78 44.8%	24 13.8%	2.4 0.86	2.3 1.00
Q2. この授業への出席率	42 24.1%	98 56.3%	33 19.0%	1 0.6%	0 0.0%	4.0 0.67	3.9 0.84
Q3. 積極的に臨めたか	97 55.7%	61 35.1%	10 5.7%	6 3.4%	0 0.0%	4.4 0.75	4.1 0.96
Q4. 授業内容の理解度	95 54.6%	64 36.8%	9 5.2%	4 2.3%	2 1.1%	4.4 0.79	4.0 1.03
Q5. 到達目標の理解	117 67.2%	47 27.0%	7 4.0%	1 0.6%	2 1.1%	4.6 0.70	4.0 1.08
Q6. 成績評価の方法・基準の理解	118 67.8%	49 28.2%	6 3.4%	1 0.6%	0 0.0%	4.6 0.58	4.2 1.00
Q7. シラバスに沿っているか	133 76.4%	38 21.8%	3 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	4.7 0.48	4.4 0.90
Q8. 難易度	9 5.2%	40 23.0%	112 64.4%	11 6.3%	2 1.1%	3.2 0.70	3.4 0.71
Q9. 教員の工夫があったか	96 55.2%	53 30.5%	15 8.6%	9 5.2%	1 0.6%	4.3 0.88	4.1 1.00
Q10. 教員の対応やフィードバック	99 56.9%	56 32.2%	14 8.0%	4 2.3%	1 0.6%	4.4 0.78	4.2 1.00
Q11. 解決すべき課題を見つけられるか	86 49.4%	56 32.2%	19 10.9%	8 4.6%	5 2.9%	4.2 1.00	3.9 1.07
Q12. 自らの考えを持てるか	81 46.6%	51 29.3%	30 17.2%	3 1.7%	9 5.2%	4.1 1.08	3.9 1.09
Q13. 総合評価	109 62.6%	51 29.3%	10 5.7%	2 1.1%	2 1.1%	4.5 0.76	4.2 0.98

令和7年度前期 授業評価アンケート 集計結果(学部別)

区分	専門キャリアアップ科目	履修者数	379
		回答者数	170
		回答率	44.9%

設問	科目平均	区分平均	全体平均	回答数/構成比(%)						
				5	4	3	2	1	その他	
選択式設問										
Q1 この科目の一週間の平均的な学習時間(予習・復習)はどれくらいですか?	-	2.4	2.2	6 3.5%	15 8.8%	56 32.9%	58 34.1%	35 20.6%	0 0.0%	
Q2 この科目の授業にどれくらい出席していますか?(オンライン授業については、課題を学習した場合は出席したと考える。)	-	4.0	4.1	53 31.2%	75 44.1%	39 22.9%	3 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	
Q3 この科目の授業に積極的に臨んでいますか?	-	4.3	4.2	86 50.6%	58 34.1%	18 10.6%	4 2.4%	4 2.4%	0 0.0%	
Q4 この科目の授業内容を理解できていますか?	-	4.2	4.0	83 48.8%	62 36.5%	13 7.6%	6 3.5%	6 3.5%	0 0.0%	
Q5 この科目の到達目標を知っていますか?	-	4.4	4.1	108 63.5%	36 21.2%	15 8.8%	5 2.9%	6 3.5%	0 0.0%	
Q6 この科目の成績評価の方法・基準を知っていますか?	-	4.5	4.2	109 64.1%	42 24.7%	11 6.5%	3 1.8%	5 2.9%	0 0.0%	
Q7 この科目の授業内容はシラバスに沿って行われていますか?	-	4.5	4.3	114 67.1%	34 20.0%	18 10.6%	2 1.2%	2 1.2%	0 0.0%	
Q8 この科目の難易度についてどう思いますか?	-	3.4	3.4	21 12.4%	38 22.4%	102 60.0%	8 4.7%	1 0.6%	0 0.0%	
Q9 担当教員はこの科目への積極的な参加や自発的な学修を促すように工夫していますか?	-	4.3	4.1	93 54.7%	50 29.4%	15 8.8%	9 5.3%	3 1.8%	0 0.0%	
Q10 担当教員は質問や相談の対応およびフィードバックを適切に行っていましたか?	-	4.4	4.2	103 60.6%	45 26.5%	12 7.1%	6 3.5%	4 2.4%	0 0.0%	
Q11 この科目の受講を通して、解決すべき課題を自ら見出せるようになったと感じますか?	-	4.0	3.9	74 43.5%	49 28.8%	28 16.5%	13 7.6%	6 3.5%	0 0.0%	
Q12 この科目の受講を通して、自らの考えを持てるようになったと感じますか?	-	4.0	3.9	75 44.1%	38 22.4%	39 22.9%	11 6.5%	7 4.1%	0 0.0%	
Q13 この科目の総合評価を5段階で選択してください。	-	4.4	4.2	104 61.2%	43 25.3%	17 10.0%	2 1.2%	4 2.4%	0 0.0%	

【回答基準】 5: そう思う 4: ややそう思う 3: 普通 2: あまり思わない 1: 思わない



<教職科目に関する科目>

評価レーダーチャートより、カテゴリー平均は、ほぼ全項目において全科目平均よりも高い結果となりました。また前回との比較においても、ほぼ全ての項目において向上しています。とりわけ「Q13. 総合評価」が前回4.2だったのが、今回は4.7に上昇しています。昨年度、教職課程の担当教員が2名とも新任教員となり、授業の方法や内容が少なからず変わったことから、その変化に学生が戸惑っていた面が指摘されていましたが、今回は担当教員の改善への努力が反映されたものと考えられます。また、このような取り組みが、自由記述で見られるような、丁寧な説明やフィードバックがなされているという評価につながっていると思われます。なお、わずかながら、教授法について工夫を求める指摘が見られました。

令和6年度(2024年度) 授業評価アンケート集計結果(学部別)

上段: 平均値
下段: 標準偏差

回答分布(人数と平均値・標準偏差) ※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。

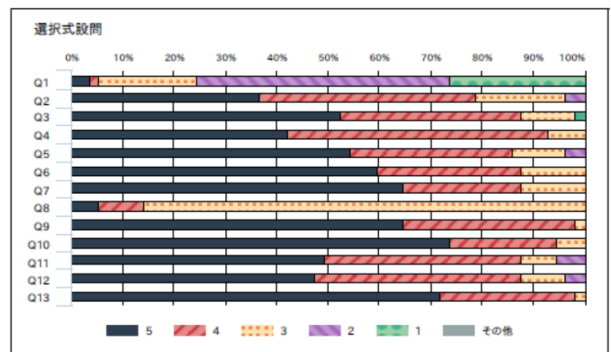
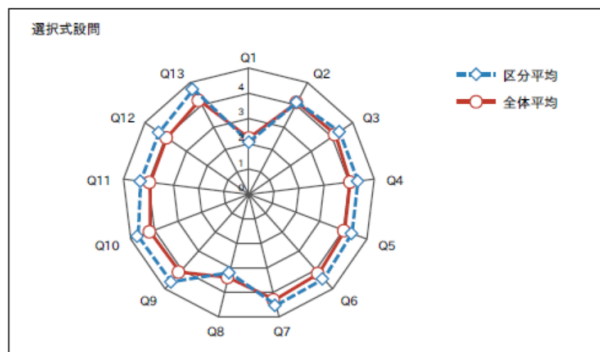
質問内容	5	4	3	2	1	カテゴリー	全科目
Q1. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	2 2.5%	5 6.3%	17 21.5%	31 39.2%	24 30.4%	2.1 0.99	2.3 1.00
Q2. この授業への出席率	13 16.5%	42 53.2%	22 27.8%	2 2.5%	0 0.0%	3.8 0.72	3.9 0.84
Q3. 積極的に臨めたか	35 44.3%	22 27.8%	9 11.4%	11 13.9%	2 2.5%	4.0 1.16	4.1 0.96
Q4. 授業内容の理解度	32 40.5%	26 32.9%	12 15.2%	9 11.4%	0 0.0%	4.0 1.01	4.0 1.03
Q5. 到達目標の理解	40 50.6%	17 21.5%	11 13.9%	10 12.7%	1 1.3%	4.1 1.12	4.0 1.08
Q6. 成績評価の方法・基準の理解	45 57.0%	18 22.8%	11 13.9%	4 5.1%	1 1.3%	4.3 0.97	4.2 1.00
Q7. シラバスに沿っているか	46 58.2%	19 24.1%	9 11.4%	4 5.1%	1 1.3%	4.3 0.95	4.4 0.90
Q8. 難易度	2 2.5%	7 8.9%	67 84.8%	3 3.8%	0 0.0%	3.1 0.47	3.4 0.71
Q9. 教員の工夫があったか	41 51.9%	20 25.3%	9 11.4%	9 11.4%	0 0.0%	4.2 1.03	4.1 1.00
Q10. 教員の対応やフィードバック	52 65.8%	16 20.3%	8 10.1%	3 3.8%	0 0.0%	4.5 0.82	4.2 1.00
Q11. 解決すべき課題を見つけられるか	34 43.0%	24 30.4%	13 16.5%	6 7.6%	2 2.5%	4.0 1.06	3.9 1.07
Q12. 自らの考えを持てるか	37 46.8%	19 24.1%	15 19.0%	5 6.3%	3 3.8%	4.0 1.12	3.9 1.09
Q13. 総合評価	45 57.0%	13 16.5%	15 19.0%	6 7.6%	0 0.0%	4.2 1.01	4.2 0.98

令和7年度前期 授業評価アンケート 集計結果(学部別)

区分	教職に関する科目	履修者数	105
		回答者数	57
		回答率	54.3%

設問	科目平均	区分平均	全体平均	回答数/構成比(%)					
				5	4	3	2	1	その他
選択式設問				5	4	3	2	1	その他
Q1	-	2.1	2.2	2	1	11	28	15	0
				3.5%	1.8%	19.3%	49.1%	26.3%	0.0%
Q2	-	4.1	4.1	21	24	10	2	0	0
				36.8%	42.1%	17.5%	3.5%	0.0%	0.0%
Q3	-	4.4	4.2	30	20	6	0	1	0
				52.6%	35.1%	10.5%	0.0%	1.8%	0.0%
Q4	-	4.4	4.0	24	29	4	0	0	0
				42.1%	50.9%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q5	-	4.4	4.1	31	18	6	2	0	0
				54.4%	31.6%	10.5%	3.5%	0.0%	0.0%
Q6	-	4.5	4.2	34	16	7	0	0	0
				59.6%	28.1%	12.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q7	-	4.5	4.3	37	13	7	0	0	0
				64.9%	22.8%	12.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q8	-	3.2	3.4	3	5	49	0	0	0
				5.3%	8.8%	86.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q9	-	4.6	4.1	37	19	1	0	0	0
				64.9%	33.3%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
Q10	-	4.7	4.2	42	12	3	0	0	0
				73.7%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q11	-	4.3	3.9	28	22	4	3	0	0
				49.1%	38.6%	7.0%	5.3%	0.0%	0.0%
Q12	-	4.3	3.9	27	23	5	2	0	0
				47.4%	40.4%	8.8%	3.5%	0.0%	0.0%
Q13	-	4.7	4.2	41	15	1	0	0	0
				71.9%	26.3%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%

【回答基準】 5: そう思う 4: ややそう思う 3: 普通 2: あまり思わない 1: 思わない



北海商科大学 教育方法改善委員会

〒062-8607

札幌市豊平区豊平6条6丁目10番

代表 (011) 841-1161